

「親子でふれあう土木バスツアー」実施結果報告

1. 概要

小中学生とその保護者の方 計 66 名で佐賀県松浦郡玄海町にある玄海エネルギーパークへ行き、原子力発電所のしくみと発電所における土木技術を知っていただきました。

2. スケジュール

8 時 30 分 出発（県庁プロムナード前）

（移動：九州・長崎自動車道 経由）

12 時～12 時 40 分 昼食

13 時～15 時 40 分 玄海エネルギーパーク

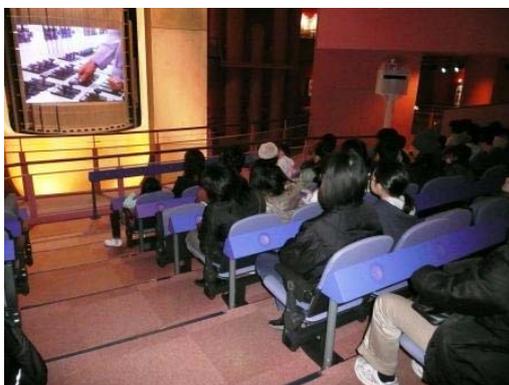
エネルギー館・発電所構内見学、自由行動

（移動：長崎・九州自動車道 経由）

18 時 30 分 帰着（県庁プロムナード前）

3. 開催状況

エネルギー館見学状況





4. 参加者の皆さんの意見(抜粋)

今、電気は人が生活する上でなくてはならないものになっています。その電気を作る基礎に土木の技術が使われていますが、「電気と土木」のつながりについて、どんなイメージを持っていますか、または持っていましたか？

- ・ 電気を作るのは、土木も必要だということがわかった。
- ・ つながりがあるとは思わなかった。土木と電気、どういうつながりがあるのかのお話もあれば子供たちにも理解できたのでは、と思った。
- ・ 土木＝土台というイメージがあったので、イメージアップ作戦が必要では？その点、今回の催しはよかった。
- ・ いろんな土木技術があるということ、勉強になった。
- ・ 土木＝工事と思っていたので、土木ツアーに来て「そういうことなんだ」と勉強になった。
- ・ 電子力発電所を作るにあたって、ボーリングをして地質を調べ地震対策で強固な岩盤の上に発電所を作るということを初めて知り、電気技術だけでなく土木技術の重要性がわかった。
- ・ 電気は、電気技術者や機械技術者が携わって作っているものと思っていましたが、発電所は土木技術者も携わっているのを初めて知った。
- ・ 土木技術がなければ発電所は作れないということがわかった。
- ・ 関係ないと思っていたので、驚いた。
- ・ 「どうして土木バスツアーを九州電力がするのか？」と思っていたが、発電設備に絶対必要な『安全を守る』には、土木技術も大事なのが良くわかった。
- ・ 電気と土木が繋がっているイメージはなかった。
- ・ どうして海の近くに電子力発電所ができるのかがわかった。地震にも強い建物のために石の上に作って、安定した電気の供給のために土木の技術が大切なことを知った。
- ・ 電気と土木につながりがあることを今回初めて知った。とても勉強になった。

以上